

〔学会〕 第1059回 千葉医学会例会

第2回呼吸器内科例会（第16回呼吸器内科同門会）

日 時：平成15年1月11日（土）

場 所：千葉大学医学部本館1階 第2講義室

1. 皮膚筋炎に合併した肺癌の2症例

矢野利章, 松原 宙, 多田裕司
(千大)

症例1は、68歳女性で全身の紅斑と上眼瞼の浮腫、手指背部の落屑、近位筋優位の筋痛・筋力低下を認め、皮膚筋炎と診断。同時に胸部異常影を認め肺小細胞癌（T4N3M0, stage3B）と診断された。皮膚筋炎に対してはPSL、肺癌に対しては化学療法施行し効果を認めた。症例2は、72歳男性で浮腫性紅斑と四肢近位筋の筋力低下を認め、皮膚筋炎と診断。同時に胸部異常影を認め、肺腺癌（T1N2M0, stage3A）と診断された。皮膚筋炎に対してはPSL、肺癌に対しては化学療法＋放射線療法を施行したが奏効しなかった。皮膚筋炎合併の肺癌において、肺癌の治療効果が、皮膚筋炎の活動性にも影響するといわれているが、今回はほぼ同時期に2つの症例を経験したので、若干の文献的考察を加えて報告する。

2. Gefitinibが著効した高齢者肺癌の2例

重田文子, 吉浦浩平, 小島 彰
(船橋中央)

Gefitinib（商品名: IRESSA）は癌の進展プロセスに関与する上皮成長因子受容体を選択的に阻害し、手術不能又は再発非小細胞肺癌に有効な薬剤である。高齢者肺癌へGefitinibを投与し著効した2症例を経験したので報告する。(1)86歳男性 血痰を主訴とした肺気腫によるH-J IVの肺癌患者。Gemcitabine単剤にてSDだったためGefitinib内服を開始。血痰は消失し、画像上PRが得られている。(2)87歳女性 労作時呼吸困難を主訴としたPS3の肺癌患者。Gefitinib内服を開始。PS1に改善、画像所見に著明な改善を認め、CEAの正常化が得られている。結語: Gefitinibは高齢で状態不良の肺癌患者に対しても有効であると考えられた。

3. ネフローゼ症候群で発症し、化学療法が奏効した悪性胸膜中皮腫の1例

外山真一, 溝尾 朗, 堀江美正
(東京厚生年金)

症例は65歳の男性。平成14年6月より下腿浮腫、体重増加を主訴に近医受診し、ネフローゼ症候群と診断され精査加療目的にて当院紹介入院。入院後の腎生検にて微小変化群と診断されステロイド内服を開始。また、左肺胸水の細胞診にてclass Vを認め、胸腔鏡下胸膜生検にて悪性胸膜中皮腫を認めたためGEM＋CBDCAの化学療法を開始。PRが得られた。従来は効果が少ないとされていた悪性胸膜中皮腫の治療について、ネフローゼ症候群を契機として発見されたことも含めて文献的考察を踏まえて報告する。

4. Covered stentを用いたstent in stentが有用であった肺癌による気管支狭窄の1例

弥富真理, 江渡秀紀, 新島真文
(成田赤十字)

48歳男性。平成13年8月咳嗽、血痰で発症し、気管支鏡検査で右上葉入口部を閉塞する腫瘤を認め、組織学的診断で非小細胞癌、病期StageIIIBと診断された。放射線療法および化学療法を施行しPRを得たが、外来化学療法中の平成14年8月に呼吸困難感が増悪。気管支鏡にて右主気管支の高度狭窄を認め、8月3日に右主気管支にUltraflex stentを留置した。症状は改善したが10月下旬に右肺の含気低下と呼吸困難感が出現し、stent間隙から内部への腫瘤の増殖による狭窄を認めたため、11月5日バルーン拡張術後にUltraflex covered stentを既に留置されているstentの内部に留置した。この処置により含気は改善し、呼吸状態の改善とQOLの向上が得られた。